

# 令和4年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	外国語・フランス語中級	講座名	フランス語 中級	対象年次	2
担当者				単位数	1
教科書	使用しない				
教材	プリント配布、CD、DVD				

学習目標	① フランス語の基本的な <b>文法を理解し</b> 、日常会話に実際に使える程度の語学力を身につける。 ② <b>フランスやフランス語圏の文化に対する理解を深める。</b>
------	--

月	期間	単 元	配当時間	学 習 内 容	学習上の留意点
4月 ～ 5月	第一 回 定期 考 査	第1群規則動詞	2 h	第1群規則動詞を中心として、直説法現在形が使いこなせるように基礎を固める。	日常生活に直結した表現ができるようにする。
		非人称	2 h	時間や天候の表現が、できるようにする。	フランス独自の時刻の表現法に慣れさせる。
5月 ～ 7月	第二 回 定期 考 査	義務をあらわす表現	6 h	il faut～、devoir, 命令文と否定命令文	様々な注意書きが理解できるようにする。
		様々な疑問詞		なぜ、いつ、どこ、どのようになどの表現	
		言葉を言い換える。	指示代名詞、指示形容詞、所有形容詞	性数変化に気を付ける。	
7月 ～ 9月	第三 回 定期 考 査	代名動詞	6 h	Se lever, se voir など 互いに～する、自分自身を～する、などの表現	ラテン語系の言語独特の表現になれる。
		終わったばかりの出来事の表現		動詞venirと近接過去(～したところだ)の表現	近接未来との用法の違いに気を付ける。
9月		人に依頼する。		Pouvoir とvouloir を用いた欲求, 可能, 依頼などの表現	自分の要望などが表現できるようにする
7月 ～ 9月	第三 回 定期 考 査	比較する	8 h	Plusなどを用いた形容詞や副詞の比較級、最上級	形容詞の性数変化に気を付ける。
過去の出来事を表現する		Êtreを用いる複合過去と Avoirを用いる複合過去		過去分詞の性数変化に気を付ける	
9月		複合過去の語順		複合過去の現在完了的性格 代名詞、代名動詞、否定文 の場合などの語順	Ne pas の位置に注意
評価の観点・方法		定期考査の得点、 <b>プレゼンテーションの評価</b> 、課題の提出状況、出席状況授業への積極的参加の状況により総合的に判断して行う。			

# 令和4年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	外国語・フランス語上級	講座名	フランス語 上級	対象年次	2
担当者				単位数	1
教科書	使用しない				
教材	プリント配布、CD、DVD				

学習目標	<p style="color: red;">① 必要な文法力を身につけ、円滑にコミュニケーションできる力を養う。</p> <p style="color: red;">② フランスやフランス語圏の社会情勢、文化に対する理解を深め。それに対する自分の考えを発信する力を身につける。</p>
------	--

月	期間	単 元	配当時間	学 習 内 容	学習上の留意点			
10月 ～ 12月	第四回 定期 考査	これからのことを表現する	4 h	未来形(単純未来)の用法(予測、意思など)と語尾変化。時を示す様々な表現 前未来(未来における完了)  En, y (そこに、そこへ)、le (中世代名詞)	動詞それ自体が語尾変化することに注意する 複合過去との類似に着目する。 独特な用法に注意する			
		特殊な代名詞						
		過去の状況を表現する	4 h	半過去(ある時点で展開中の過去)  完了した過去と展開中の過去を使い分ける。	語尾変化に注意する  数多くの例文、問題にふれながら使い分けができるようにする。			
複合過去と半過去の使い分け								
関係詞								
1月 ～ 3月	第五回 定期 考査	強調構文	8 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞等の基本を学ぶ。</li> <li>・フランス語独自のdontを理解する。</li> <li>・主語、目的語など強調するものによる違いを理解する。</li> <li>・前述の物を示す表現</li> </ul>	英語の場合と比較して学ぶ 日常生活における出来事を表現してみる 性数変化に気を付ける			
		指示代名詞						
		受動態						
1月 ～ 3月	第五回 定期 考査	現在分詞とジェロンティフ	4 h	Être+過去分詞を用いて表現する。 代名詞で受動態の意味を持つ表現をする。  理由や時の表現ができるようにする。	過去分詞の性数変化に注意する。  特にジェロンティフが使いこなせるようにする			
		条件法現在						
		接続法現在	4 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮定法における現在の事実に偏する結果、語気緩和の用法を学ぶ</li> <li>・頭で考えたことを希望目的としてあらかず接続法を学ぶ</li> </ul>	依頼の丁寧語に慣れる  Il faut (～しなければならない) など身近な表現とともに用いてみる。			
フランス語の実際	4 h	<p style="color: red;">フランスやフランス語圏の報道を読んだり聞いたりする。</p> <p style="color: red;">フランス語の小説や、映画、歌などを鑑賞する。</p>				インターネット等を活用し、生のフランス語に触れる機会をつくる。		
評価の観点・方法							定期考査の得点、 <span style="color: red;">プレゼンテーションの評価</span> 、課題の提出状況、出席状況授業への積極的参加の状況により総合的に判断して行う。	